

愛三グループのマテリアリティ

愛三グループは、VISION2030で掲げる「この手で笑顔の未来を」を実現するために、EVや水素技術をはじめとする技術革新に挑戦し、環境技術No.1企業を目指します。未来の子どもたちに安心と笑顔を届けるため、幅広いテーマの中から事業活動

を通じて発生するポジティブ、ネガティブな影響も考慮した4つのマテリアリティを特定し、関連するKPIも設定しました。2024年度の各項目の取り組み実績は下記の通りです。

項目	マテリアリティ(重要課題)	取り組みテーマ	想定されるリスクと機会	長期的に目指すありたい姿	短・中期的KPI(指標)	実績(2024年度)	目標(2025年度)	KPI(2030年度)
E 環境	知恵と技術で 循環型社会に貢献	気候変動対応、廃棄物ゼロ、 脱炭素、水素社会技術開発、 多燃料対応、自然共生	リスク: 炭素税など、環境関連規制の 想定を上回る強化 機会: 新規事業領域の拡大	カーボンニュートラルの達成 サーキュラーエコノミーの実現 ネイチャーポジティブへの 貢献 新分野技術の育成	Scope1&2 総排出量	7.4万t-CO ₂ ▲33%	7.2万t-CO ₂ ▲35%	▲60%
					Scope3 総排出量	171.6万t-CO ₂ ▲13%	—	▲28%
					クリーンエネルギー 廃棄物ゼロエミッション*	再生可能エネルギー率 創エネルギー率	23% 0%	28% — 55% 5%
					水使用量*	▲41%	前年以下	▲5%(原単位)
					自然と共生する工場	▲29%	前年以下	▲5%(原単位)
					知的財産蓄積 (2023年以降累積特許出願件数)	1工場	1工場	5工場
					産学官連携	220件(累積)	83件(単年)	500件(累積)
					ソフトウェア・電子人財(単独)	19件	20件	25件
					デジタル人財(単独)	105人	108人	270人
					女性マネージャー(単独)	53人	75人	220人
S 人財・風土	イノベーションに 挑戦し続ける人づくりと、 「認め合い・活かし合う」 風土づくり	人財育成、ダイバーシティ、 働き方改革、安全/健康、 DX(ロボット化、IoT対応)、 従業員エンゲージメント	リスク: 従業員育成コストの上昇 機会: 専門人財の獲得機会の上昇	多様な人財が生き生きと 活躍し続ける職場の実現 何でも声掛けできる 相互啓発型の 安全健康文化の構築	海外拠点幹部(部長職以上) ポストナショナルスタッフ充足率	73.1%	73.7%	90%
					従業員エンゲージメントスコア	53ポイント	55ポイント	60ポイント
					男性育児休業取得率	76.9%	83.0%	90%
					愛三学園での技能人財育成	18人	21人	22人
					労働災害度数(休業)	0.46	0.3	0
					人間ドック受診率	82%	90%	100%
					メンタル不全者数	15件	12件	0件
					喫煙率	21.6%	19%	15%
					持続的な社会貢献活動(参加延べ人数)	1,596人	1,500人以上/年	1,500人以上/年
					サステナビリティチェック実施率	100%	100%	100%
C 社会	地域と共生し 持続的社會に貢献	人権、持続可能な調達、 地域社会との共生	リスク: エンゲージメントコストの上昇 機会: 多様なバックグラウンドを持つ 人財の獲得	地域や社会から信頼される 会社であり続ける 持続可能な調達の実現 (環境問題、人権問題、コンプライアンス などに配慮した事業活動の推進)	仕入先コンプライアンス違反	0件	0件	0件
					紛争鉱物確認率	100%	100%	100%
					重大な法令違反件数	0件	0件	0件
					従業員コンプライアンス意識レベル	3.49	3.79以上	3.79以上
					ヘルプライン認知度	89%	100%	100%
					オールトヨタセキュリティガイドライン(V9)達成率	90%	100%(単独)	100%(連結)
					サイバーセキュリティガイドライン(Lv3)達成率	Lv2 100%(連結)	Lv3 100%(単独)	100%(連結)
					正確かつ速やかな情報開示 積極的な任意開示	開示基準遵守率	100%	100%
					全社リスク評価・管理実行	リスクマネジメント体制確立	重点リスクの 特定	全社的 リスクマネジメント (ERM)体制構築
					人命最優先(救助・救援)	大規模災害への 対応基準の整備と認知	行動基準 認知	グループ全体 での着実な ERMの実行
G ガバナンス	信頼される ガバナンス体制の構築	コーポレートガバナンス、 コンプライアンス、 リスクマネジメント、 情報セキュリティ	リスク: 企業価値の棄損 機会: 新規ビジネス機会の獲得	地域の復旧に貢献 速やかな生産復旧	地域の復旧に貢献	支援物資の備蓄	行動基準 認知	習熟訓練 基準運用
					人命最優先(救助・救援)	大規模災害への 対応基準の整備と認知	行動基準 認知	習熟訓練 基準運用
					地域の復旧に貢献	支援物資の備蓄	行動基準 認知	習熟訓練 基準運用
					速やかな生産復旧	1週間以内での生産復旧可能な体制構築	行動基準 認知	習熟訓練 基準運用
						◎実践活動3件 ◎予備品在庫見える 化対象製品拡大	◎生産基幹システム 改訂(中間在庫見 える化)	◎生産基幹システム 改訂(中間在庫見 える化)

※2019年度比